



1. 障がい学生支援室の設立の経緯について
2002年より大学の教職員における支援委員会を中心に障害学生支援が行われてきた。その後、障害学生と支援学生が相互交流を図る場としての障害学生支援室の設置に関し、当事者である聴覚障害学生を中心とした学生から要望を受け、2013年4月より現在の「障がい学生支援室」が開室された。



2. 支援室で行われている情報保障の内容について

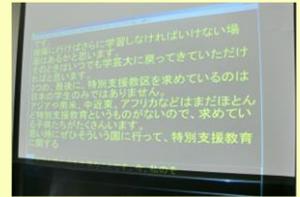
パソコンテイク
※状況に応じノートテイク

ICT(iPad)による
画面表示



DVD等の
文字起こし

論文発表会等における
発表原稿のスクリーン表示



3. 支援室のバックアップの受け、学生が主体となって実施している取り組みについて

アンケート

手話講習会

テイク交流会

Facebook

UDマップ作成

テイク交流会での意見交換から

これまでの取り組み

学生同士の困り感を共有

- ・予測変換が相手が打っているところを隠してしまう。
- ・適切な変換がすぐに出ないことがあり、入力が遅れる。
- ・やりやすいテイクとやりにくいテイクがいる。
- ・障害学生がパソコンテイクに求めていることを知りたい。
- ・全部の情報を打ってほしい... or まとめて打ってほしい...
- ・テイク者に聞きたいことやお願いがある。



- ・パソコンテイク講習会でスキルアップ。
- ・障がい学生支援室での練習会
- ・パソコンの設定の調整の実施 (障がい学生支援室or支援学生)
- ・機器の取り扱いマニュアルの作成
- ・テイク交流会を定期的に行い意見交換



共通の困り感として大きかったもの

教職員とのスムーズな連携のためには

- ・話し方やスピード、指示語の使い方、板書の仕方を工夫してほしい。
- ・時々パソコンテイクが入ることに対して違和感を感じる教職員もいる。
- ・配慮のお願いをしたいけど、連絡がとれない。
- ・配布資料や文字起こしの依頼等の準備をしてほしい。
- ・パソコンテイク者の為にもゆっくり話してほしい。



支援学生と聴覚障害学生で先生にお願いしたいことを出し合って
情報保障依頼書を作成。
(H27年度秋学期途中から実施)

これからの取り組み

安心できる情報保障に向けて

- ・トラブルがあった時にすぐに対応してもらえると安心だな...
- ・ちょっとしたことですぐに相談ができる相手がほしいな...
- ・テイク交流会のような機会をこれからも作ってほしいな...
- ・支援学生がもっと増えるといいな...

- ・どのような状況でも対応ができるように
障がい学生支援室の**スタッフの増員**
- ・学生同士の関わりの機会の充実
- ・学生による**コーディネーション**
- ・支援学生募集の呼びかけ

